

食品ロス削減環境学習プログラム 「学ぼう！へらそう！『食品ロス』～大切な食べ物を、 おいしく食べきるために～」について

愛知県環境局資源循環推進課 一般廃棄物グループ

愛知県では、食品ロス削減に向けた取組に力を注いでいます。2017年3月には「食品ロス削減に関する庁内連絡会議」を設置し、部局間での連携を開始しました。また、2019年10月には「食品ロスの削減の推進に関する法律」の施行を受け、県としてもより一層食品ロスの削減及び周知啓発を推進するため、児童を対象とした環境学習プログラム「学ぼう！へらそう！『食品ロス』～大切な食べ物を、おいしく食べきるために～」(以下、「本プログラム」といいます。)を作成しました。クイズを含むすごろく(以下、「クイズすごろく」といいます。)や動画により、楽しみながら食品ロス削減に向けた学びを深めることができます。愛知県環境局資源循環推進課 一般廃棄物グループにお話を伺いました。

▶本プログラムの概要、作成の背景を教えてください。

本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」は、家庭や小売店、飲食店など「食」に関する日本の様々な場所から年間500万トン以上発生[※]しており、国民一人ひとりが削減に向けて取り組むべき重要な課題となっています。課題の解決には、食品ロスへの意識を高め、考えるきっかけ作りを行うことが重要です。

そこで、家庭での消費行動に影響力を持つ子どもたちを主な対象とした本プログラムを2019年度に作成しました。本プログラムは、クイズすごろくや動画で構成されています。子どもたちが主体的に参加し、考えるプロセスを含むことで、楽しみながら食品ロスについて学ぶことができるものとなっています。作成後は、県内の全小学校・義務教育学校に配布し活用を促すとともに、県内の小学校等でのモデル授業を通して改善を行いながら、現在も食品ロス削減のための普及啓発活動に用いています。

※出典：令和3年度推計（農林水産省及び環境省）

▶作成にあたり、工夫した点を教えてください。

本プログラムを作成する際には、誰もが簡単に行うことができるクイズすごろくを基本とし、児童が、食品ロス問題を楽しみながら学ぶことができるように工夫しました。具体的には、食品ロス

発生の場面をクイズすごろくのます目にするなど、日々の消費行動を疑似体験できるようになっており、食品ロスに対する「気づき」につなげられるよう意識しています。また、作成にあたっては、食品ロスや環境関係の有識者、学校教育の専門家から意見を頂き、教材としての完成度を高めました。加えて、小学校の授業でより活用しやすいよう、導入（動画）・体験（クイズすごろく）・振り返り（動画やワークシート）までの全体の流れを、授業時間に合わせた45分程度で実施できるようにするとともに、食品ロスに関する専門知識がなくても実施できるように指導者用マニュアルを作成している点も工夫の一つです。



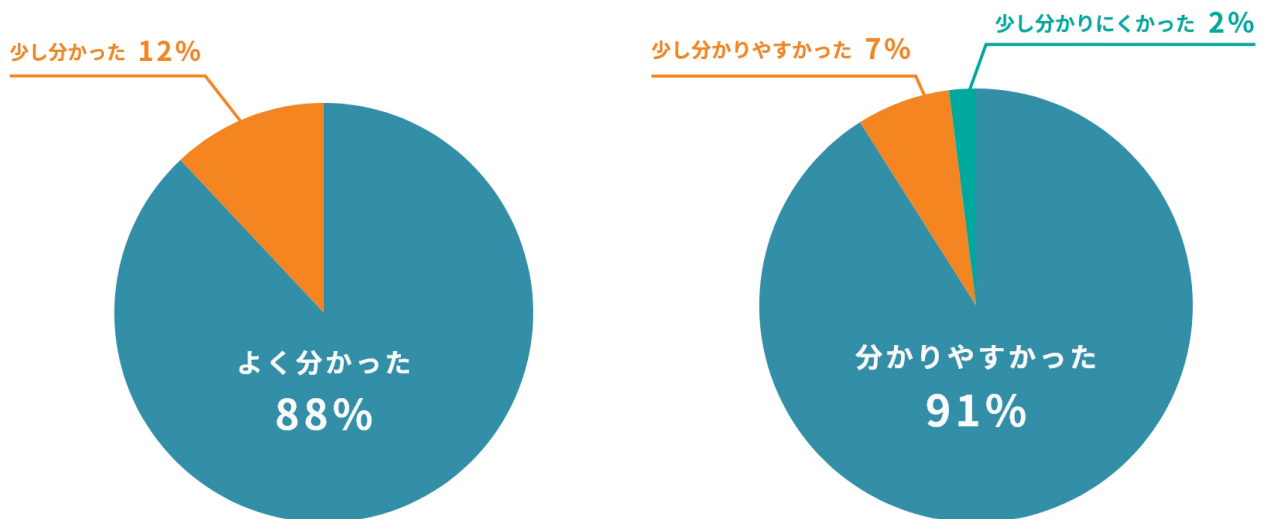
導入（動画 ミニストーリー） 体験 ゲーム（クイズすごろく） 振り返り（解説動画、ワークシート）
出典：愛知県食品ロス削減Webサイト「環境学習プログラム」

▶本プログラムを実施して、成果と課題について教えてください。

2021年に県内の小学校4年生を対象に実施したモデル授業のアンケートでは、授業の前に食品ロスの意味を「知っていた」割合は19%程度でしたが、授業後には食品ロスの意味や削減のためにできることが「よく分かった」との回答が83%となりました。また、参加したほぼ全員から、取組について意欲的な感想が寄せられるとともに、指導者からも好評をいただいています。

更に、実施の手軽さなどから、大学の授業や愛知県厚生農業協同組合連合会（JA愛知厚生連）の大人向けの講座など、幅広い年齢層の皆様に活用いただいています。また、イベント等で本プログラムを体験された他団体からは、同様の教材を作成したいとの声を頂いており、食品ロス問題以外の環境学習への効果的な展開も期待されるものとなっています。

小学校やイベントブースで本プログラムを体験していただいた方に実施したアンケートの結果は、以下のグラフのとおりです。



本プログラムで「食品ロス」の意味や食品ロスを減らすために何ができるか分かりましたか？
(回答者数：97人)

クイズすごろくのルールやクイズの内容は、分かりやすかったですか？
(回答者数：137人)

出典：愛知県食品ロス削減Webサイト「環境学習プログラム」

▶本プログラムの今後の展望について教えてください。

本プログラムは、県内小学校や義務教育学校への配布、県主催のイベントで体験ブースを設けて実施しているほか、貸出しも行っています。また、動画等の各種データは愛知県食品ロス削減Webサイトからダウンロードすることもできます。(末尾のリンク集「もっと知りたい方はこちら！」からアクセスできます。) 小学校の授業等はもちろんのこと、自治体等のイベントや地域の集まりなどで、より幅広く活用されることで、食品ロス問題を考えるきっかけとなり、実際の行動につながる事となると嬉しいです。

▶消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

食品ロス問題には、SDGsとも関連しており、メディア等の各所で取上げられることや、自治体・活動団体等の継続的な啓発活動により、認知度が高まっています。多くの方が食品ロス削減の意識を持つようになっており、国内の食品ロス発生量は、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行された2019年度から2021年度までの間に、50万トン近く減少しています。更なる食品ロスの削減を目指し、学校や地域における消費者教育の一環として、ぜひ本プログラムをご活用ください。

愛知県では「愛知県食品ロス削減推進計画」を2022年2月に策定し、少しでも多くの食品ロス削減に向け、各種取組を継続しています。食品ロスを減らすために今できることを考え、実践につなげていただければ幸いです。引き続きのご協力をお願いいたします。

▶ありがとうございました。

もっと知りたい方はこちら!

食品ロス削減環境学習プログラムホームページ「学ぼう!へらそう!『食品ロス』~大切な食べ物を、おいしく食べきるために~」:

<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/foodloss/learning-program.html>

愛知県「愛知県廃棄物処理計画(愛知県食品ロス削減推進計画)(2022年度~2026年度)」:

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/405679.pdf>